

# サロン総会議事録

2012年5月13日(日)

記録者：國分悠伸

出席者：麻生征宏、奥山純一、熊谷建志、國分悠伸、笹原勉、関谷綾子、田中俊也、谷口昭彦、本多克己、宮明透、中塚義実、室田真人

## 1.資料及び出席者確認、自己紹介

○資料：議事進行表、役員・運営委員一覧、平成23年度決算書、平成24年度予算案

○出席者

中塚先生：出席者の確認ですが、事前に多くの方から欠席連絡をいただき、委任状を94名から提出、委任の宛先は中塚義実、あるいは中塚理事長。これは中塚が2名いるので、特定できているのが52名。それから中塚先生って言ってくれているのが9名ですが、もう1人の中塚さん、まあ私の父親なんですけど、大阪にいらんですが、紛らわしい委任が9名。理事長っていうのが私のことなんですけど16名。議長も理事長が務めることになっているので10名ですので、52+16+10名が私が持っている票数です。すごいことになっております(笑)。それから本多さん、室田さん理事の方、出席のみなさまということですね。

○自己紹介

中塚先生：では出席の方々簡単に、初めての方もおられますので、自己紹介をしていきたいと思います。では私から。この学校で教員をやっております、サロンの理事長を務めております、中塚です。よろしくお願いします。

笹原さん：今年度は幹事を務めます、笹原です。仕事はニップという会社で働いております。よろしくお願いします。

室田さん：今年度運営委員で会計名簿担当をしております、室田です。今新潟に住んでおります。新潟から今日駆けつけました。よろしくお願いします。

麻生さん：麻生征宏といいます。2年ぶりぐらいでしょうか、月例会に参加して以来になります。よろしくお願いします。

國分：國分と申します。筑波大学附属高校の出身で筑波大学に進学をして、今年から社会人一年目になります。一応2年前から所属していたんですが、あまり顔を出せなかったもので、初めての方が多いいと思いますので、よろしくお願いします。

本多さん：本多です。副理事長とあとHP担当などを担当させていただいております。よろしくお願いします。

関谷さん：静岡から来ました、関谷綾子と申します。サロンは2年ぐらい前からの参加で、総会は今年が初めてになります。よろしくお願いします。

奥山さん：奥山と申します。恵比寿でWebのエンジニアをしております。残念なことに昨日がつつりフットサルをしてしまったので、今日はあまり動けない疑惑があります。よろしくお願いします。

田中さん：遅れてきました、田中です。理事です。静岡から来ました。サロンは10年以上ですかね、在籍し

ております。

熊谷さん：熊谷と申します。2009年度からこのサロンのメーリングリストを担当しております。よろしくお願いいたします。

宮木さん：宮木と言います。大阪から来ました。昨年から理事をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

谷口さん：今日初めて参加させていただきます。新規の会員でもあります、谷口です。よろしくお願いいたします。

中塚先生：谷口さんはこの会をどこで知られたんですか？

谷口さん：HP、インターネット検索していたら見つけてまして。(何を検索されてたんですか?)要はサッカーの本とかサッカーの資料とかをずっと探してたんですね。外国にはサッカーの経済学のような、私経済学者をやっているの、経済学の本を色々探してはいますね、日本はほとんど無かったので、なんか無いかなと思って、こちらを見つけてまして。「研究ができるみたい」ということで(笑)。

中塚先生：まあ研究もできる(笑)。

谷口さん：そうなんだ。しまった(笑)。

## 2. 2012年度会員募集について

○資料をもとに、会員の現状を確認。

中塚先生：今年度会員募集に関するのですが、今谷口さんからあったように、新規の会員の方も14名おられまして、全部で111名から名簿の連絡をいただいたと。現時点で名簿に掲載されるのは182名でいいんですよね、室田さん。

室田さん：そうですね。

中塚先生：現状そこに書いてある通りで、2011年度の会員が165名いたんですけどその中で退会の意思表示、矢野さんは実は去年の6月時点でそういう連絡があったんですが、安田さんと菊地さんからもありました。それ以外の方は、連絡が無かった方はそのまま更新ということなので、合わせると182という数字になるわけです。

→名簿掲載182名

## 3. 2012年度第1回理事会(モドキ)報告

中塚先生：第1回理事会もどきってというのが、前回の月例会終わった後で、メールでも流した通りです。ここで4月26日にやったときに本多さんと私と高田さんがいたので、色々今年度の方針について話をしました。その時点で会計の書類なんかも無かったので、事務的な話をすることができませんでした。というのが報告です。

## 4. 2011年度事業報告及び決算確認

○平成23年度収支について、資料を元に確認

室田さん：A3用紙を見ていただいているですか。こちらが最新のものになります。上が収入の部で下が支出の部になります。会費受け入れに関してなんですけども、23年度の会員は174名でよろしいですか。

中塚先生：まずそこですね、2011年度会員がずれているのは、はい、いいです。続けて下さい。

室田さん：その中で、ここ浦和さんを昨年度分に入れてしまっていますので、修正しなければいけないんですけども、そう考えたときに、会費納入済みの方が162名いらっしゃって、486,000円の収入がありました。一昨年度の10月以降入会の方が3名いたので、その方々には振込をいただいております。会員未納の方は右側の9名になります。國分さんは振り込んでいただいたということで、修正したいと思います。寄付金に関しましては、41,000円収入がありました。右を見ていただくと分かるんですけど、1,000円の方が2名、2,000円の方が7名、3,000円の方が4名、7,000円の方が1名、6,000円の方が1名という内訳になっております。次にその他雑収入ですが、預金利息分で26円の収入がありました。昨年度の繰越金が64,467円で、23年度の収入は591,493円になっております。ここは明日確認して再度修正になると思いますが、今の段階ではこういう数になっております。

支出に関してです。月例会補助ということで、ホッチキス止めの裏側を見ていただいて、サロン月例会決算というものです。月例会補助の内訳に関しましては、こちらになります。

19,000円がマイナスとなっております。次にプロジェクト補助ということで、A3のもう一枚のものをみてください。左側の2010年度の公開シンポジウム補助を2011年度の決算でということですので、左側のページの報告書関係のところを見ていただければと思うのですが、賛助金としては110,000+報告書バックナンバー売上で120,500円、プラス金利で3円がありました。サロンの補助としては、31,207円となっております。支出としましては、テープ起こしで20,000円、報告書印刷費で241,500円、振込手数料として210円、合計支出は261,710円となっております。このサロンの補助というところでも最初の資料に戻っていただいて、右の備考を見ていただくと分かると思うんですけど、平成22年度「育成」シンポジウム報告書補助ということで、31,207円を計上しております。その下の23年度シンポジウム補助ということで、先ほどのシンポジウムの決算書をみていただければと思うのですが、支出としましては、旅費で賀川さんの26,900円と演者4名の40,000円、そして振込手数料の210円で67,110円。このシンポジウム43名の参加でしたので、参加費1,000円で収入があり、その補助ということで24,110円を収支決算書に計上しております。合計しまして決算額が55,317円となっております。プロジェクト補助の(2)、プロジェクトその他補助ということで、フットサル報告書を作成しまして、その広告にサロンを載せましたので、その広告料に31,500円を計上しております。次に3番事務費ということで、謝金に関しましては今回ありませんでした。それ以外の旅費として、23年度総会の交通費ということで72,760円を計上しております。内訳としましては、大分から来ていただいた宮明さんには43,300円、大阪から来ていただいた本多さんには29,460円お支払いしております。3番目の印刷製本費ということで、2011年度の会計名簿が、159,300円プラス消費税ということで167,265円となっております。通信費に関しましては53,132円計上しております。その内訳としましては、進栄印刷さんに名簿の発送の以来をしております。それが43,732円、名簿担当が変わりまして、そのときの封筒を前担当の岸さんから私にお送りしていただいたときの1,200円、途中から会費納入といただいた方に私の方から名簿と報告書をお送りしております。その金額が6,400円、中村覚之祐シンポ資料の返却郵送費で950円、進栄印刷さんへの封筒発送費850円計上しております。合計で53,132円となっております。次に借損料としましては、今回計上しておりません。6番の雑役務費としまして今回は121,355円計上しております。備考を見ていただきますとその内訳が書いておまして、月例会案内報告作成費としまして、178名分。これは23年度の会員プラス仮会員の方も含めてこの人数になっています。その方々に12ヶ月分で50円で、106,800円を中塚先生にお支払いしております。その他時間外手数料含む振込手数料で3,045円、メーリングリストの契約料として10,500円、岸さんから私に引きついだときの雑務費として1,010円計上しております。消耗品については今回計上がなく、予備費も使用しませんでした。23年度の決算書に関しては以上になります。

○監査監事から確認

【DUOリーグ、(株)シックスからの賛助金に未入金について】

→(株)シックスからは入金を確認、DUO リーグに関しては未入金

笹原さん：監事からは3点確認したい点がありまして、1点は先ほどの件、2点はシンポジウムの賛助金としてDUO リーグ、シックスから入金の予定があるんですけど、私が見た段階ではシックスについては入金されていました。唯一DUO リーグからの入金がまだなので、これをいただきたいと思います。

#### 【収支計算書】

支出、雑役務費の月例会案内、報告作成費について不明な点  
期末残金と期初の残金の確認をしっかりと行うことが必要。

笹原さん：収支決算書の支出の部3の(6)、雑役務費の中で、この中塚理事長に支払っている月例会案内、報告書作成費の106,800円。これは23年度の会員の数を基準に計算されて、通常は年度末に支払われるものです。昨年度は会員数が違うので、94,800円かな、が会計書に載っているんですけども、昨年年度末に支払われた金額が、なぜかこの106,800円だったと。同じ金額が昨年度末と今年度末に支払われていて、これがなぜだか分からない。最初が間違っているか、それとも後が間違っているか、両方正しいんだけど、最初のもとは別のものが一緒に振り込まれていてたまたま同じになったか、そういった可能性があると思います。そのところが分からない。もう1つは、反省として、本来の会計監査としては、期初の残金と、期末の残金とを比べて、支払いの記録が、お金の流れと合っているかを確認しないとイケないんですけど、期初の残金が分からなかったもので、それができていません。これはちょっと今からできないので、今期の期初はしっかり確認しておきたいと思います。

#### 【E-BANK、シンポジウム賛助口座について、決算書記載方法について】

新潟はみずほ銀行が一つしかないため、通帳記帳ができない。

→E-BANKのできる銀行で作り直すことが必要ではないか。

昨年の総会でシンポジウムの口座は無くしたが、

そこに振り込まれているものもまだある。

シンポジウム賛助口座についても誤連絡→訂正が必要。

会費受け入れの備考欄→会費を納めた人が会員。書き方を変更する。

室田さん：私も引き継いですぐ新潟に異動になって。新潟みずほ銀行が1軒しかないんですよ。記帳ができないんです。そこまでわざわざ行って記帳してという形です。

田中さん：送ってもらうことはできないんですか。

室田さん：E-バンキングとかですかね。

熊谷さん：E-バンキングは2年ぐらい前に一度その話が出たときがあって、コーポレートの口座でE-バンキングはみずほの場合できないです。そういうのをやるのであれば、e-バンキングの口座を作り直すということになると思うんですけど、そうするといつでも会計する人で見合ったりすぐできますよね。

中塚先生：みずほでなければならぬってことはないからね。

笹原さん：ただ、これに関して言えば、去年の総会で決まったことで、シンポジウムの口座はやめてこっちに

統一しようと。基本的に統一されたんだけど、まだ名残があって、シンポジウムの口座に振り込まれたりしている。それは直しますね。

中塚先生：それは僕の方でも間違っていたかもしれないですね。シンポジウムの案内に賛助金受け付けますって書いてあって、その口座をシンポジウム口座にしていたかもしれない。これを直さなければいけませんね。シンポジウム口座っていうのはこの世に存在しない。

室田さん：存在なくしてほしいですね。

中塚先生：分かりました。他、何かありますか。平成23年度のところで。あと、会費受け入れの備考欄の書き方だけど、去年もこうしていたのかもしれないけど、やっぱり会員っていう言い方がね、良くないと思うんです。会費を収めた人が会員なので、会費未納9名は会員じゃないわけでしょ。ちょっと書き方を変えましょう。名簿掲載者が174名ってことかな。平成23年度名簿掲載者。冊子としての名簿ではなくて、登録されているという意味で。

#### 【月例会案内通信費】

はがきで送られたとしたらと考えて50円×会員数で計算していることについて、手間は変わらないので、上限を決めた方がすっきりするのではないかな。

→今の現状を維持

中塚先生：月例会案内通信費をどう換算するかっていうのは難しいところだと思うけど、便宜的に月例会案内はがきで送られたとしたらってことで一人当たり50円かける12ヶ月ってことになって計算をしているわけですが、今年初めて10万円を超えたんじゃないかな。これ会員数がどんどん増えて来るとこうなるわけです。正直手間は変わらないんですよ。だからちょっと多くなりすぎているかなって気もしていて、上限を決めてやるほうがすっきりするのかなって気はするんですけどね。

室田さん：来年も10万超えますか。

中塚先生：もちろんそうですね。その分会費受け入れも増えてくるわけだから、バランスは取れていると言えれば取れているけど。

数名から：いいんじゃないですか。

中塚先生：はい、じゃあこのままいきたいと思います。

## 5. 審議事項

### 【今年度の活動方針について】

○メインテーマはフットサル

トピックスとして「スポーツと観光」、「高校サッカー90年史とプレミアリーグ&DUOリーグ」、「ラグビー」、「Jリーグとアジア、-OJINカップを事例に-」

実は去年1年間ですね、なんだかんだで本来のテーマであった育成期の指導者といった中身について取り上げたのが、そんなときだけだったんですね。だから去年はメインテーマとしていたところがぼけてしまったかなと

いう感じです。もう1つ東日本大震災のこともあって、サッカーの力、当たり前ありがたみっていうのを去年も黒板に書いた覚えがあるんですが、その辺りを視野に入れたテーマ、これ6月の岸さんの月例会。これも割と単発で終わってしまったかなと。つまり去年はメインテーマを掲げながらあんまりそれを意識された活動につながらなかった気がします。で、今年どうするかということで、先ほどちょっと見てもらった本年度のテーマについて、7ページのところです。議事同士のやり取りの中で、出てきた意見であります。7ページの下のところには本多さんからフットサルいいんじゃないかということ、それから8ページのところでは宮川さんが関西からU-18のフットサルが良いと思うということ、ここに来られています。宮木さんからはフットサルについては賛成ということと、もう1つスポーツと観光をテーマにやってみないかということ。これはメインテーマかは分からないけど、月例会の1つのテーマとしてこういうのはどうかというご提案をいただいています。宮木さんから何か補足をいただけますか。

宮木さん：そうですね、たまたまトリニータ前社長の溝畑さん、観光庁長官を3月末で任期切れになったんですけど、今でも月に一回ぐらい電話でやり取りをしているんですけど、彼はメインで観光庁にいて、スポーツと観光をテーマに幅広く活動をしています。ここでもスポーツを取り上げるんで、観光も月例会の1つとして取り上げて、彼が日本をどうみて、何を考えてどう言っているのかっていうのを、話を聞いたら面白いのかなと思っているんですけどね。あと東京に1年ぐらいおられるんで、今の肩書きは内閣総理部参与みたいな形で、観光をテーマに厚相と総理官邸を行ったり来たりするような話をされてたんですけど、ここに来るのは時間さえ許せばやってくれるよという話は聞いていますんで、もしよろしければと思っています。

笹原さん：それは日本に来てもらうという形ですか。

宮木さん：そうですね、日本に来てもらうという形ですね。そういうのもあって、一応Jリーグの顧問にもなっているんです。

中塚先生：面白いですね。昨日も前夜祭でその話が出て、せっかくだから公開月例会も良いかなって話もしていたんですけどね。でもそうするとかえって話しづらいかもしれないですね、誰が来るか分からないから。コアな人たちでやったほうが面白いですからね。月例会のテーマってことでも構いませんので、テーマをボンボン挙げていきながら、メインテーマを探るというのも良いと思います。フットサルに関しては本多さんの方から。

本多さん：先月の月例会でお話させていただいたU-18の月例会の話なんですけども、また来年の3月も同じような形で、名古屋のオーシャンアリーナでということと予定をとっています。現状では民間主催の大会ですが、今後協会や上がさらに関与してという形で進んでいますので、1つの案としては公開シンポジウムをその3月の大会、名古屋で開催されるのと合わせてという方向で1つ検討していただければと考えています。あと、ここにもメールで書いていました、フットサルのワールドカップなんですけど、11月2日から18日にタイで開催。それに向けての予選が5月25日からUAEでAFCの大会で行われていますので、そのあたりも外部の方に広がるかなと思います。日本がどれくらいのレベルかと言うと、アジアではイラン以外にはほぼ負けない、第2番目の位置なんですけど、今までワールドカップには毎回出ているけども、一勝だけというのが現状です。

中塚先生：U-18年代というところも面白いところ。フットサルっていうのを大きなテーマとして掲げながら、フットサルのワールドカップだったり、U-18年代のフットサルの振興だったり、そういうのを定期的に月例会で追っていったらどうかということなんです。

本多さん：あと高校サッカー90年ということで、ここまでの変遷があったので、その到達点としてプレミアリーグといったことが始まっているわけですから、それについても何か同じ流れの中で一度何かどなたかにお話をさせていただければなど。それができたことの良い面が多いと思いますけど、何か問題点があるのであればその辺りの話も。フットサルU-18年代という中で、面白いかなという気がしますね。

中塚先生：すると軸はやっぱりフットサルですよ。(黒板にメモをとりながら)このU-18 つながりでも高校サッカー90年の話で、このつながりでプレミアリーグ、DUO リーグからプレミアリーグですね。

本多さん：それがこうきれいにつながっているのかどうかと。

中塚先生：これ面白いもので上がちゃんとつながってしまうと、この人たち(DUO リーグ関係者)どんどんまじめになっていくんですよ。遊び心満載でスタートしたのに上に合わせないといけないという感じで。そういうのがこっちでも出てきやしないか(フットサルの大会に協会が絡んでくること)っていう。その警鐘を鳴らす意味でも、何かこういうのをつなげた口で、何回かやりたいなっていう形ですね。ここに観光はどう絡んで来るかな。観光はやっぱり別ですかね。トピックですね。スポット的な感じで。あと、ラグビーネタも継続して追っていきたいし。

笹原さん：あとJリーグがアジアに出ているじゃないですか。で、話は飛ぶんですけど、アジアの各地に日本人チームがあって、その日本人チームが一カ所に集まって、年一回大会を開くんですよ。J アジアって言うんですけど。 そのおじんバージョンがあるんですよ、40 歳以上の。去年の大会からそのオジンカップに日本サッカー協会会長さん、小倉さんが自費でポケットマネーで出ているんですよ。ワールドカップと同じ形になって、今年になんと北京チーム優勝だったんですよ(笑)。そんなような J リーグの中西事務局長が北京に来たことがあって、その話をしたら、そういう大会は非常に面白くて、J リーグとアジアの提携とも合致するから、もし声がかればお金を出すとか、選手を派遣するとかは喜んでやりますよと言っていたんですよ。

中塚先生：オジンカップっていうの？

笹原さん：OJIN。これは「Overseas Japanese International」なんですよ(笑)。決してオーバーエイジではないと。

中塚先生：この話前から紹介してよって言うてたんですよ。なんか上手く絡めてね。じゃあ笹原さんぜひ一回ね。写真も撮って来てるでしょ。今年もあるの？

笹原さん：この間やったばかりなんですよ、OJIN は。若手はありますよ、今度ジョホールバルなんですよ、場所が。面白いのが合って、原則として大会でビリーになると、翌年自分のところで開催しないといけないっていう(笑)。

#### ○シンポジウムについて

- ・1つの案として、月例会を中心に、年度末にまとめをする形式
- ・時期について  
3月末に名古屋で。トリムを外して3月30、31日か3月23、24日。16、17日も可能か。  
→細かい日程は今後。フットサル大会があるときにフットサルをテーマに名古屋でシンポジウム。
- ・通信で、テーマに詳しい、話ができる人を呼びかけ。

熊谷さん：よろしいですか。制度設計としての考え方なんですけど、基本的にフットサルを取り上げる考え方は賛成です。昔シンポジウムって11月から12月の年度の真ん中ぐらいで盛り上がりそうなネタでやっていたと思うんですけど、今って3月に開催するっていうのが定着してきているので、今年度こういう形のテーマを中心にするという形にして、その年度末にそのまとめをするという流れに上手くつながりやすいかなと思ってはいるんですよ。僕的にはフットサル絡みで発表されたいとかネタを持っていらっしゃる方がたくさんおられると思うので、月例会は基本的に色んなネタの中で、特にフットサルについて話されたいという方とかやっぱりおられると思いますので、話していただいて。それで最後のシンポジウムのときに、過去の月例会で出て来てもらった人には基本的にシンポジストとして出て来てもらって、話す内容も過去の月例会に出てた内容を繰り返すだけでも良いと思うんですよ。ポイントは話す中心の人たちの別々の意見が合わさっていくと、こんなことがあったなというのをリバイスしながら、こういうことが改めて分かりましたねっていうのを確認する場にもっていくのがいいかと。毎年そういう考え方でいくと、多分シンポジウムを計画する人も毎回毎回大変だと思いますので、月例会で出て来た人に話してもらおうといったやり方にしていくのがいいのではないかと改めて思いました。

中塚先生：シンポジウムはそれでは3月の末でよろしいでしょうか。

本多さん：3月の23、24日がトリムなんですよ。なので、それを外した方がいいんですよ。なので、30、31日か、20日が祝日なので、19日の平日を入れて19、20日とするか。そのあたりが候補日になるかと。だから30、31日か23、24日。23、24日になるとトリムカップとかぶってしまう。ここは日程を確認しますが、その他は土日が5回あるので、プーマが2週あって、トリムが1週ですから、そのもう1つ前の16、17日がいけるかもしれないですね。

中塚先生：そこはまだ学校ですね。土曜日だから無いところのほうが多いけど。では細かい日程は会場の都合もあるのでこの場では決められないけど、3月の末のU-18フットサル大会のときに名古屋でシンポジウムをやり、テーマはフットサルだと。それに向けて、熊谷さんも言われたけど、そこに出て来る演者は月例会で話した人がもう一回出て来るような形でもいいんじゃないかということですよ。ただ、それは色々あるアイデアの1つで良いのかなと思うんですけど、いいですよ。

熊谷さん：いいですよ。

中塚先生：とりあえず通信でこういう柱でいく、話題持っている人はぜひ手を挙げて下さいという形で投げかけて、早めに企画していきたいなと思います。

○出張サロン、関西サロンについて

・関西サロンについて

本多さん：関西サロンは宮川さんがクラブユース連盟の理事長を退任されるので、宮川さんに一度話をしてもらいたいということと、上田龍三郎先生にはシンポジウムで一度お話をいただいているんですけど、もう一度話をさせていただきたいという二つがテーマとしてあって。あとそれ以外に2回やって今年もどうかといったこととか。

中塚先生：黒田さんは間に合わなかったですね。台湾に行ってしまったので。黒田和生さん、ヴィッセルの育成をやめて今台湾の、あれは？



本多さん：台湾の協会の U-12 から U-18 までの統括、システム作りから携わっていると。

中塚先生：帰国されたタイミングでやれると良いですね。

・出張サロン in 大分

大分のチーム。地域としてフットサルをどう盛り上げるかなど、九州からのお話をしてもらえればサロン 2002 のツアーとして、大分に行けないか。竹之越さんに関して。

→日取りは 9、10 月あたり。サロン in 大分を開催。バサジ大分の試合を観戦し、タケノコさんのふるさとを訪ねる。地元でシンポジウムを。

本多さん：今日宮木さんいらっしゃっているんで、今 F リーグは名古屋オーシャンズが 5 連覇で圧倒的なんですけど、その 2 番手として期待されているのが大分なんですね。そういう意味でもこれから大分が名古屋にどう挑んでいくのかとか、地域としてフットサルをどう盛り上げていくのかといったことを九州発信でやっていただけたらと。今回 U-18 の大会は大分ではなくて熊本が U-18 リーグとかをやっていて選抜チームが出てくれたんですけど、そのあたりも実は九州の方で 1 つやっていたらいいかなと思っています。

中塚先生：これも昨日の前夜祭でちょっと出たんですけど、サロン in 大分ですね。できないだろうかということで、竹之越さんの成果を尋ねるツアーとかですね。今ちょうど歴史の 90 年史もそうですし、色々やっているとところなので。宮木さんも今ずっと調べられているんですね。

宮木さん：そうですね、調べています。向こうの方で 1 つ頼まれていたのは、大分県サッカー協会が再来年に 65 周年を迎えるので、そのどういうのを作ろうかということで、色々調査をしています。あとは高体連 90 周年の原稿を依頼されているんですけど、かなり出来上がっているんですけど、もう少しで出来上がると思います。竹之越さんのことは、時々書いているんですけど、よく知られていないので、そういうイベントを作って行政の人たちに PR できればと思いますけどね。

中塚先生：それもう日取りを決めてしまいませんか。無理ですか。

宮木さん：いいですよ。

中塚先生：9 月あたりですね。9 月 10 月。いくつか候補を挙げていただいて、サロン in 大分をやしましょう。できればバサジ大分の試合を観戦し、そして竹之越さんのふるさとを尋ねつつ、熊野の中村覚之助のときみたいに地元でシンポジウムかなんか開けるといいですよ。ちょっと調整していただけますか。

【Facebook 関連の業務について】

現在は宮川さんが作成したグループに登録しているが、この状態を維持。

本多さん：今 Facebook の中で、グループという昨日がありまして、今宮川さんが作って下さったものに登録して、わりとたくさんの方に登録していただいております。この前奥山さんに URL の変更とかをやってももらったところなんですけど。まずそれを維持しつつ、9 ページに書いていますけど、プライバシーの設定が、現状はグループのメンバーだけが投稿を見れることになっています。そこは公開してはいいんじゃないかというのが私の考え方です。あと、誰が投稿できるかということに関しては、現状のメンバーだけということではないかと。というのが Facebook の中のグループの運営というところですね。あと、Facebook ページというのがあるって、よく企業やキャンペーンの Facebook ページということであるんですけど、それは現状ないんですけど

ど、今後立ち上げていってもいいだろうという考え方で、誰がその管理をするのかと。宮川さんはその担当者が誰か1人必ず必要だろうという考えなんですけど。私の今の意見としてはグループをもう少しそのまま運用しながら、Facebookについては、今後の課題でいいのかと考えています。

笹原さん：HPとどう違うんですか。

本多さん：違いはですね、Facebookページっていうのは、Facebookを使ってきている人たちに情報発信していくためのもので、グループというのはそのメンバーだけでやりとりをする場所というところですね。発信する場所なのか、メンバーだけでやり取りする場所なのかっていう意味です。

笹原さん：メーリングリストとHPみたいなものという形ですか。

奥山さん：そういう形で、内側だけで遊ぶことができる、共有できるのがグループという機能で、ページはFacebookユーザーは誰でも見られるので、やる気を出せば9億人が見られる。という機能がページです。

本多さん：プライバシーっていうのを公開しちゃうと、グループ以外の人が見れますという形ですね。

奥山さん：僕がグループで楽しいなと思うのは、単純に会員の人が顔写真が載っていてみられると。サロンの会員の名簿の第2弾というか補足するような感じで見られるのは楽しいなと思います。でもこれを議論の場だとか、ごちゃごちゃ増えていくと、Facebookを使える人と使っていない人の差が大きくなってしまいうから、僕は、Facebookのグループの中の議論はやめた方がいいと思っています。

熊谷さん：定義として今参加しているメンバーは実際の2011年度メンバーになってはいないという認識でいいですか。

本多さん：実際はなっていますね。そういうルールで閉ざしている訳ではないですが、実際はそうになっています。

熊谷さん：僕色々詰めたかと思っていたところはあったんですが、定義としてメンバーが入れるグループになるのか、なんらかの形でサロンに関わっている人が入れるのかっていうところが、要するにしっかりサロンの会費を払ってという条件を満たしている人が会員の継続ができるし、どっかで途切れた人は退会させなきゃいけないっていうようにしていく必要があるかどうかっていうところですね。

奥山さん：そこでFacebookで議論が無ければあくまで補足の位置づけにすればそれほど管理をしなくてもいいのではないかと。

熊谷さん：シンポジウムとかは、中塚理事の方から、ここで公開する情報はシンポジウムの広告費を元に外部に公開されますので、この場での写真の撮影ですとか、ブログへの掲載はお控え願いますといったことが、その中では一応プライバシーといったことがちゃんとあるんですね。ですので、Facebookのアカウントが無い人は見れないといったんですけど、正しく定義すれば、メンバー外の人の中を見られてしまうのが、よくないことかなと思うんです。そういうところを考えないで、「サロンで得た情報はこんなものがありましたよ」とか、「こんな写真とりましたよ」というものをグループに入っていれば全員が確認できるのかっていうところのメンバーであるという前提っていうのは、ある程度抑えておいた方がいいかなと思います。

奥山さん：僕のイメージとしては、すごく軽い使い方をイメージしていて、Facebook ページは HP で載っているものと全く同じものを外部に公開するものとすれば、サロンの HP にアクセスするのと同じだからそれでもいいのかというのが1つあります。もう1つグループっていうのは僕がイメージしていたのは、月例会の案内をグループに載せるのは面白いのかなと思っています。

熊谷さん：役割としてはそうですね。ただ、グループはメンバーの人がこういうことやっていますという、今のメーリングリストとかでたまに情報を流す感覚で公開することもできますので、そういうことも可能ですね。

奥山さん：そういうのはなるべく Facebook じゃないほうがいいんですよね。多分 Facebook 使っていないけど会員の人もいますから。

熊谷さん：Facebook でグルーピングの定義がメンバーだけっていう風に定義されていけば今のままで何の問題もないと思っているんですよ。すでに会員になっている人に情報を流すんだから、基本的に今のサロンの定義では、サッカーに関する情報であればそれはどんどん情報を出して、活性化する趣旨に合う訳ですから。

奥山さん：言い方を変えて、入口の1つとしたらどうですか。Facebook のグループは入口の1つで、HP から入ってくる人もいれば、Facebook から入ってくる人もいて、最終的にちゃんとしたメンバーっていうのは、いつものルール。そこではメンバーのルールとしての普段もらえる情報がもらえて、Facebook のグループっていうのは、一応ありますよっていうぐらいのもの。

中塚先生：やりたい人がやるっていうこと？

奥山さん：本当にそういう軽い感じのもの。極端に言えば、サロンの会員じゃなくても、招待するぐらいならいいのかなと。興味を持っている人はこの人たちですよっていうリストとしての位置づけであれば、上手いこと飲み込めると思ったんですけど。

中塚先生：ここでそれほどしっかり議論しなくてもいいかもしれない。気になったのは、それがあるとメーリングリストはいらなくなってしまうのかと思ったんですけど、そんなことはないですよね。メーリングリストは会費を払った会員の顔写真がないけど、情報交換ツールで、それはそれで大事なものだから。

熊谷さん：僕が懸念しているのは、メンバーとしてグレーなゾーンになっている人たちっていますよね。サロンの会員であったらどういう情報にアクセスできるのかといったところでグレーなものがあると思うんですよ。例えば議事録とかサロンのホームページとかはパスワードでアクセスされていますけど、途中でやめてしまった人もパスワードって変わっていない訳ですから。実は見られる人が出てきてしまっていると。Facebook にしても、毎年メンバーの更新ができていってるところが、今の HP と同じようにやめている人が情報だけ取っていつているという状況が、長い目を通してみれば出て来るかもしれないと思ったんです。

本多さん：現状で、グループの運用としては、原則会員の方だけにすることと、さっきのプライバシーの設定をどうにかするかっていったところについては、さっきの公開非公開っていうシステムがあるんですけど、非公開でいいですかね。そういう運用で Facebook を使っている方にもそういう案内をして、当面そういう方向で運用していくことにしたいと思います。今日の写真も後ほど載ると思います。

笹原さん：今は Facebook ページは見るけど、普通の HP は見ないっていう人も多いんですか。

奥山さん：そうかもしれないですが、ただ個人の考えとしてはなるべく依存しない形が好きです。今まで作ってきたものを Facebook ページに乗っ取られたくないというのもあるので、サロンの HP の情報を載せる程度で、メーリングリストがメインで、メーリングリストを見ている人はこういう人がいるんだぐらいの感じにしておかないと。最近の流行でどんどん持っていかれてしまっている気がするんですよ。

中塚先生：その強気の態度は賛成です(笑)。

田中さん：似顔絵でいいのであれば、サロンのちゃんとした名簿を作りますよね。あれに顔写真を載せるのはどうですか。サッカードクターの会って必ず顔写真入りにするんですよ。そうしないと、現地で二日間サッカーをやったりするときにもどこの誰だか分からないでしょ。その写真をみて、どこの先生だかっていうのが分かって、本当に Face to Face になって、そのあとはメールのやりとりしたときも、その名簿を引き出せば、この顔の先生だかって思い出せるようになっていくから、ちゃんとした名簿を作るんだったら、そこに顔写真を載せてという風に思うんですけど、どうでしょう。今顔写真は 100 人ぐらいの名簿だと載せるんですよ。自宅住所を載せない代わりに勤務先を載せておいて、顔が見える状態にして、いちいち自己紹介なんかしないような会だと、それをまず見てもらって、懇親会で使うと。公に募集したものとして、ずっと残ると。人と会うときのお互いを知る為の参考資料として使っています。

熊谷さん：イメージとしてはここで配布している名簿と同じですか。

田中さん：そう、名簿に顔写真がちゃんと載っているものです。できるだけ最新のね。写真は白黒です。

中塚先生：アイディアとしてはいいけど、要領がうまくいかない気がします。

奥山さん：実際に運用するときってというのは名簿の原稿と、別に写真を送ってもらうんですか。

田中さん：最初の頃はネガでやっていて、サッカー協会に送っていました。年に 2 回しかやらないものなんだけど、そのためにちゃんと冊子を作って、その資料の一番最後に名簿として参加者という形で。最近はドタ参加みたいな人たちがいると、顔写真が無い人が入って来ちゃうみたいで、有益性が崩れつつある。どこのチームドクターをやっているかといったことはそれで分かるし、話題のきっかけにもなる。名前だけだと分からないので。それは親睦を深める上ではいいかと。初めての人は特に。

中塚先生：顔写真問題はとりあえず保留にしてください。

田中さん：もし Facebook をやるのであれば、名簿の方にちゃんとした顔写真があったほうがいいかなと思いました。

本多さん：今の考え方で行くと、印刷物の名簿はなかなか大変かと思うので。逆にそれを補完する意味で自分から顔を出したい人は Facebook に貼りましょうという形にして補完した方がいいかと思います。

#### 【メーリングリスト添付ファイルについて】

梅本さんより思いデータの添付メールを送らないように注意することが必要であると指摘  
→1MB を上限として共有。

中塚先生：9 ページの梅本さんの意見が今のと関係するかもしれないので、これはここで話をしたいんですけど、重い添付メールが最近は無い様子ですが、というのは、何回か添付メールの重いものを送ってしまって、梅本さんの職場のサーバーがパンクしてしまうと。何回かクレームをもらって、できれば「何メガバイトを超える場合は送信前に要領ボリュームを確認いただきますよう」程度の注意をお願いできませんでしょうか。これは僕が送る場合もそうだし、メーリングリストで回ってくるものに時々重いものが乗っかっているというのを注意してくれということだと思っけど。

熊谷さん：メーリングリストとしては、通常のメーリングリストの設定では何メガバイト以上の場合には送れないというのがありますが、そういう設定項目がなかった気がします。勝手に何か設定されているのかもしれないんですけど、管理画面にその情報は設定できないようになっていると思います。それは調べてみます。

中塚先生：この梅本さんが言っていることはその通りですよ。適切な大きさは 1MB でいいですかね。写真がついているときがあって、それが 1MB を超えてしまったときがあったかもしれない。気にはしているんですけど。マナーの問題ですが、確認メールは送っておきたいと思います。

#### 【会費未納について】

宮川さんからの指摘をもとに、催促を徹底することが決定。

宮川さんからですが、宮川さんいつもこれを言うんですけど、「会費未納入および名簿提出連絡の無い人は会員としてみとめないのがよいと思います。」とのこと。会計担当者の手間と不愉快さがあると思います。

熊谷さん：この件なんですけど、僕もここ 3 年くらいやってみて、定義を少し考え直した方がいいかなと思っていて、今は名簿出してくれた人は、この会のなかに入る意思のある人だから、会費は払っていないけど、本人が出してくれるのを待ちましようとなっていると思うんですけど、会費を払わなければ会員として認めないという姿勢をどこかで強めるべきなのか、あるいは月例会のとかにしてもそうなんですけど、今未会員の人が参加される場合は、初回の場合はただで、会員の人は 1000 円払うとなっているんですけど、それを未会員の人が入ってくれることに期待して、入ってくれる前提の仕込みとしてやっていると思うんですけど、ちゃんとそれがうまくいくための初回会費タダといったところになっているのかというのはあるんですよ。実際どれくらいの人が未会員として来ていて、どれくらいの人が本当に 1 回だけタダで来ていて、2 回以降会員になっているのかというのは、把握できてなくて、2 回目以降もタダで来ている人もいるのではないかと思っています。

中塚先生：それは無いですね。あの制度の良いところは誘いやすいんですよ。なので、これはこれで続けていきたいと思っているんですけど。会員数も年々増えて来ていて、良い傾向かなと思っていますが、そうすると薄くなってしまふ人も出てくるから、濃さは維持しないといけないですね。宮川さんの提案も分かるんですけど、不愉快さもあるけど、連絡をしないと督促もできないということもあるので。

室田さん：忘れてる人もいらっしゃるんで。

笹原さん：名前を羅列しての督促をもう少し頻度を増やしてもいいかも。期末だけだと。

中塚先生：今年その督促が遅れたというのものもあるんですよ。

田中さん：これはメールだけではなくて、郵便物も送っているの？

室田さん：今回は電話しました。

田中さん：出ない場合もあるの？

室田さん：出ない場合と留守電の場合があります。

田中さん：今さらレトロな感じだけど、郵便物で督促したらどうなの。

室田さん：実はやっていて、今年はそれが遅くなってしまったんですよ。なので、郵送の手間を考えて電話をしました。

中塚先生：笹原さんが言ったみたいに名前入りのやつを多くやった方がいいですね。

○予算案について

資料をもとに審議、確認。

室田さん：24年度サロンの予算書に入ります。収入の部は4つの観点からで、前年度の繰越金は71,164円で確定です。会費収入の522,000円なんですけど、この考え方は174名×3,000円で、昨年度会費を払っていただいた方の165名プラス未納者も含めて会員に鳴ってくれるであろう人ということで出しましたが、現時点で175名が会員ですので、もう少し増えるかなという予測があります。寄付金に関しては、平成23年度の実績と同じ数を予測して41,000円計上しています。最後利息が26円。合計収入の部としては634,190円で、昨年よりも36,697円増加しております。次に支出の部に入ります。月例会補助の部に関しましては、19,000円。昨年度の実績による数字です。プロジェクト補助に関しましては、昨年度をベースで考えまして、シンポジウム補助を60,000円、プロジェクト補助を40,000円計上しております。プロジェクト補助に関しましては平成23年度の高校サッカー90年史シンポジウム報告書作成費の補助と平成24年度シンポジウム実施の補助を考えております。その他補助に関しましては、協賛金40,000円ぐらいではないかと思っております。次に事務費に入ります。謝金ですが、昨年ベースで計上しています。旅費に関して、ここも検討したいとは思っているんですけど、100,000円のベースによる減額です。ここの項目としましては出張サロン、月例会演者の旅費と、総会理事交通費補助を実費お支払いすることになっておりまして、現時点で宮明さん、田中さん、本多さんの分の交通費だけで100,000円いってしまいます。ということで、ここは検討したいと思っております。印刷製本費は名簿作成費とサロン2002専用封筒印刷費がありまして、昨年をベースに170,000円。会員数も同等ぐらいですので、これぐらいになると思っております。名簿シンポジウム報告書の送付で23年度ベースで通信運搬費を考えております。借損料は昨年なかったんですが、もしかしたらあることを考え、5,000円を計上しております。雑役務費に関しても昨年ベースで130,000円計上しています。消耗品も昨年度は無かったんですが、あるかもしれないということで5,000円計上しています。あとは予備費として45,190円を載せております。以上になります。

中塚先生：1つはシンポジウム補助ですが、シンポジウムの決算書をもてらうと分かるんですけど、実は2010年度と2011年度はイレギュラーだったんです。どういうことかということ、会場使用料が共にかかっていないんですね。2010年度は全日本学連が出してくれて、去年はヴェルディが出してくれているので、普通にやるとこれがかかってくるわけです。オーシャンズが出してくれると嬉しいんですけど(笑)。

本多さん：そういう方向で調整するというので一旦。

中塚先生：やり方は考えましょう。旅費はもう少し上げられないか。大分もあるので。

熊谷さん：シンポジウムの旅費も今年度以降はこの旅費扱いになるということによろしいですか。前年度はシンポジウム予算の中に入れていたと思うんですけど。旅費は増額が行えるのではないかと思いますのですが。

中塚先生：予備費のところから4万を削って、旅費にしましょう。そうすると予備費が5,190円。いいですかね、そういう考えで。

笹原さん：本来ならシンポジウムでもう少し還元しているので。人を集めてその分を頑張ると。

中塚先生：だいぶ前の総会で話し合ったと思うけど、シンポジウムの参加費はもう少し上げてもいいんじゃないかと。シンポジウムのときは2,000円にして。

笹原さん：ただシンポジウムを名古屋ですると人は減りますよね。

中塚先生：やっぱり名古屋開催だから1,000円にしといたほうが良いか。

本多さん：逆に1,000円にしろ2,000円にしろ人は減ると思うんですけど。

中塚先生：それはまた別途考えましょう。

○組織、運営委員について、終わりに

中塚先生：組織運営委員の配置はこの最初の表にあるとおり、理事は2年任期で今年までなんですけど、運営員の方も引き続き同じ方でお願いしたいと思います。谷口さん、そういう会です。最後に感想を一言。

谷口さん：経済学者ですので、学会に行きますと、お金が合わないで悩んでいる方も多いので、どこも同じだなと(笑)。

中塚先生：5月は特に月例会は予定していなくて、6月の月例会ということに鳴るんですけど、早速OJINカップはどうですか。6月はユーロの日程などを見ながら早めに予定を決めてOJINカップ、アジア絡みの話を笹原さんに進めてもらいたいと思います。平行して今年のテーマと月例会話題提供者の募集を僕の方の通信で流したいと思います。以上で終わります、ありがとうございました。